

# 令和2年 知立市議会 3月定例会 建設水道委員会報告

## 委員構成

【委員長】 小林 昭弑 【副委員長】 山田 圭  
【委員】 杉山 千春、神谷 文明、中野 智基、  
山口 義勝



開催日：令和2年3月9日(月)

議案等の件数：計画2件、条例4件、認定1件、陳情1件、予算6件

# 令和2年 知立市議会 3月定例会

## 建設水道委員会、予算・決算委員会建設水道分科会で審議された議案等



	議案等	自由討議	討論	採決結果
第3号	知立市緑の基本計画の策定について	なし	なし	可決すべきもの
第4号	知立市都市計画マスタープランの策定について	なし	なし	可決すべきもの
第16号	知立市改良住宅条例の一部を改正する条例	なし	なし	可決すべきもの
第17号	知立市市営住宅条例の一部を改正する条例	なし	なし	可決すべきもの
第18号	西三河都市計画事業知立駅周辺土地区画整理事業施行規則の一部を改正する条例	なし	なし	可決すべきもの
第19号	知立市水道事業の設置に関する条例及び知立市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	なし	なし	可決すべきもの
第20号	市道路線の廃止及び認定について	なし	なし	可決すべきもの
陳情第1号	知立市総合計画案及び知立市都市計画マスタープラン案で示されている産業促進拠点の見直しを求める陳情書	反対意見4件	なし	不採択とすべきもの

	議案等	自由討議
第22号	令和元年度知立市一般会計補正予算(第6号)	なし
第26号	令和元年度知立市水道事業会計補正予算(第2号)	なし
第27号	令和元年度下水道事業会計補正予算(第3号)	なし
第28号	令和2年度知立市一般会計予算	なし
第33号	令和2年度知立市水道事業会計予算	なし
第34号	令和2年度知立市下水道事業会計予算	なし

### 【議案等の件数】

計画2件、条例4件、認定1件、  
陳情1件、予算6件の合計14件



## 今回の報告で取り上げる3つの審議等内容

### 1 議案第4号 知立市都市計画マスタープランの策定について

知立市総合計画案及び知立市都市計画マスタープラン案で示されている産業促進拠点の見直しを求める陳情書

### 3 議案第28号 令和2年度知立市一般会計予算の内、知立駅南土地区画整理事業について

※そのほか、令和2年度の当初予算に対しては、

- 通学路等交通安全対策事業
  - 排水管や排水路など重要インフラ施設
  - 空家対策事業
  - 社会資本整備総合交付金
  - 都市計画施設整備基金
  - 下水道事業経営戦略策定事業
- に対して質疑応答がありました。





# 今回の報告で取り上げる3つの審議等内容 1



1

## 【議案第4号】

### 知立市都市計画マスタープランの策定について



#### 【計画概要】

本市の将来都市像や土地利用を明らかにするとともに、市の最上位計画である第6次知立市総合計画や、西三河都市計画区域マスタープランと整合を図りつつ、市内各地域ごとのまちづくりのあり方を示すなど、都市計画に関する基本的な方針を定める計画。

なお、本計画は、知立市議会の議決すべき事件を定める条例第3条に基づき議会の議決すべき事件として規定されています。



#### 【審議内容】

本計画は、まちづくりの具体性ある将来ビジョンを確立し、地区別のあるべきまちの姿を概ね10年に一度定める重要な計画です。

本計画の特色の一つとして、産業需要増加を見込んだ地区設定や、本市の特色である交通の要衝という地域性を生かした交流づくりを盛り込んだ内容となっています。

各委員からは、計画内容の妥当性が問い質されるとともに、人口減少下における本市まちづくりの将来ビジョンや、市内交通ネットワークについても審議が行われました。

委員の  
着目点

計画の基本理念、産業と農業の調和、交通ネットワーク



## 今回の報告で取り上げる3つの審議等内容 1-1



### ○議案第4号 知立市都市計画マスタープランの策定について

#### 委員 質問

##### 計画の基本理念

#### 【委員質問内容】

○基本理念を「暮らしやすさと力強さをみんなで育み輝ける未来を描けるまち」と設定している。この基本理念が意図するものは。

○本市は交通の要衝のまち。交通利便性を生かした企業誘致をどのように考えているか。

#### 当局 答弁

##### 計画の基本理念

#### 【当局答弁内容】

○今回設定した基本理念は、地域の資源を大切にしながら快適に暮らせる都市づくりを目標とし、リニア開通等、新しい時代や人の流れも踏まえたものとなっている。

○本市は、交通利便性が高いため、産業需要は見込めるものと考えている。本市は、住宅都市として発展してきたが、今後は企業誘致にも力を入れていきたい。





## 今回の報告で取り上げる3つの審議等内容1-2



### ○議案第4号 知立市都市計画マスタープランの策定について

#### 委員 質問

##### 産業と農業の調和

#### 【委員質問内容】

○企業誘致地区は、現在営んでいる優良農地と重なっている。農業関係者の不安も当然だ。しかしながら、関係者へ示されたのは、計画案が固まった住民説明会が初めてだと聴いている。調整不足ではないか。

○優良農地への企業誘致となれば、農業関係者が犠牲となってしまう。こういった計画を示すのであれば、何らかの支援策をセットで示していくべき。



#### 当局 答弁

##### 産業と農業の調和

#### 【当局答弁内容】

○本計画では、企業誘致を行う具体的な位置は示していない。そのため、事前に調整する対象が定まらず、公平公正の観点から昨年8月の住民説明会で初めて計画案を公表した。

○農業に関する施策も十分に対応していくため、農業関係者のニーズを把握し、施策拡充を行うとともに、財政的な対策も必要であると考えている。また、今後産業誘致の進め方等の情報提供も図っていきたい。



## 今回の報告で取り上げる3つの審議等内容 2-1



### 【陳情第1号】

2

## 知立市総合計画案及び知立市都市計画マスタープラン案で示されている産業促進拠点の見直しを求める陳情書

### 【陳情趣旨】

各計画案に示されている産業促進拠点地域の面積規模について見直しを求めるもの。農地が約400haしかない知立市にとって、本計画に示された74haの開発区域合計面積は、過大な計画である。

また、計画策定段階において営農者との協議、調整の場もなく対応策も示されていない。このままでは、営農者としての事業継続が不可能となってしまう。



### 【委員の表明意見】

意見表明を行った4人の委員が反対意見を表明し、採決の結果、不採択すべきものとして決定されました。しかしながら多くの委員より、各計画策定段階において、関係者との調整や意見の聴き取りが足りなかったのではないかと指摘がされ、今後計画を進めるにあたり支援策の積極展開の提案を始め、様々な視点による提案がなされました。

委員の  
着目点

計画策定手順に疑問。各計画の方針には賛成だが、今後の施策展開に様々な提案。





## 今回の報告で取り上げる3つの審議等内容 2-2



### 委員の 意見 1

#### 計画理念と地域設定への賛同

○中心市街地にほど近い地域の区画整理事業、物流効率化を図るため広域道路付近を企業誘致地域に選定したことは理にかなっており、日本経済を牽引する西三河地域に位置する知立市が、近隣市同様に努力することには賛同。

### 委員の 意見 2

#### 調整不足を指摘。関係者へ適切な対応を要求

○営農者への意見聴き取りが行われなかったことは不適切。当局は、この陳情書の内容を真摯に受け止め、関係者のニーズを把握した上で計画遂行段階において調整を行うべき。

### 委員の 意見 3

#### 農業生産性向上への支援

○生産性の高い優良農地が拡大市街予定地と重なっていることが一つの問題点。この計画により生産性の低い農地が残ってしまう問題が発生するのであれば、市が責任をもって農業関係者への生産性向上に対する支援、政策強化を行っていくべき。

### 委員の 意見 4

#### 総合的見地による開発計画の提言

○農地を産業促進拠点地域に変更した場合、それなりの排水処理整備を行わなければ、企業の工場立地先として選定してもらえないか疑問である。事業遂行段階においては、抜かりのない開発計画を立案すること。





## 今回の報告で取り上げる3つの審議等内容1-3



### ○議案第4号 知立市都市計画マスタープランの策定について

#### 委員 質問

#### 交通ネットワーク

##### 【委員質問内容】

○本計画には、利用しやすい交通ネットワークの形成と明文化されているが、ミニバス運行の大幅な見直しはいつ頃行うのか。また、バス停の待合環境改善も早急に進めていくべき。

##### 【委員質問内容】

○高齢者が増えていく状況の中、町内公民館や三河知立移設駅へのバス停設置が必要ではないか。



#### 当局 答弁

#### 交通ネットワーク

##### 【当局答弁内容】

○ミニバスのネットワークが大きく変わってくるのは、鉄道高架事業が完了した段階を想定している。今後高齢者の多い地区への配慮など、バスの使いやすさ全般について調査研究を行っていく。

##### 【当局答弁内容】

○高齢者が多い地区については、今後調査が必要だと考えている。三河知立移設駅については、駅の利用状況が把握できていないため、現時点では新たなバス停設置を考えていない。



## 今回の報告で取り上げる3つの審議等内容 3



### 【議案第28号】

## 3 令和2年度知立市一般会計予算の内、知立駅南土地区画整理事業について

### 【事業概要】

鉄道高架事業の事業効果をさらに高めるため、駅南と駅北地区の交通環境を一体的に改善するとともに、より魅力ある都市空間を形成させるため、知立駅南地区の土地区画整理事業を計画するもの。現在、事業認可を得るために調査、素案策定を進めている。

- 事業計画区域 6.8ha
- 事業想定期間 事業認可後着手から10年
- 事業想定費 約80億円



### 【審議内容】

現在ピークを迎えている知立駅周辺整備事業。事業効果を最大限に発現させるためには、駅で分断されている駅南と駅北地区を街路によって繋げること、また新たな交流を生かした駅南地区のまちづくりが課題となっています。そのため今後、知立駅南土地区画整理事業及び関係街路整備事業の施行を予定していますが、本定例会での当初予算審査では、それら事業の具体的計画や駅南地区の将来ビジョンについて審議が行われました。

委員の  
着目点

新年度の事業内容、駅南地区の将来ビジョン



## 今回の報告で取り上げる3つの審議等内容 3-1



### 【議案第28号】

## ○令和2年度知立市一般会計予算の内、知立駅南土地区画整理事業について

### 委員 質問

新年度の事業内容、駅南地区の将来ビジョン

### 【委員質問内容】

○令和2年度は3千万円をかけて物件調査等を実施するとの説明があったが、その内容は。

### 【委員質問内容】

○駅南地区の住宅地を商業地化するという構想があったかと思うが、どのような構想を検討しているのか。

### 当局 答弁

新年度の事業内容、駅南地区の将来ビジョン

### 【当局答弁内容】

○駅南地区には大型事業所があり、その物件は、都市計画道路知立南北線にかかっている。については、当該物件の移設検討のため物件調査を行う。その結果を、事業手法の検討判断材料の一つとしていきたい。

### 【当局答弁内容】

○平成元年に策定した当初計画では、拠点施設を配置する構想であったが、社会情勢が大きく変化している現在、状況を見極めながら再検討を進めていく。





知立市

**ご清聴ありがとうございました。  
知立市議会建設水道委員会 委員一同**

**【委員長】 小林 昭弑 【副委員長】 山田 圭**

**【委員】 杉山 千春、神谷 文明、中野 智基、山口 義勝**

